

海洋高校合格体験記 No.14

京都産業大学法学部法政策学科合格

3年 椎葉 真理（京都市立郁文中学校卒業）



私は、水泳と海が好きという理由で海洋高校に入学しました。入学当初は、ダイビングの行える海洋技術コースに進むことを考えていました。しかし、担任、副担任の先生方と相談をするなかで、大学へ進学したいと考えました。そこで2年次からは、多くの専門資格が取得でき、普通科の学習と水産の学習や実習が行える海洋科学科に進みました。

大学へ進学することを決めた私は、学力をつけるために、家庭学習や進学補習を3年間頑張りました。また、資格取得やボランティア活動、研究活動や課外活動にも積極的に取り組みました。そして私は大学受験に挑みました。しかし、結果は不合格となりました。不合格と知った際には、すごく落ち込みました。ただ、多くの先生方に迷惑をかけ、受験に失敗したままでは絶対に終わりたくないと思いました。そして諦めずに、もう一度受験に挑戦をし、大学に合格することができました。

大学受験で私が学んだことは、大学進学の高難しさと厳しさです。どれだけ多くの活動に取り組んでも、日々の学習に励んでも、結果が不合格となり、自分自身が否定されているようでした。私には、大学進学など向いていないのではないかと悩んだこともありました。しかし、同時に多くの人に支えられていることを学びました。

私が大学を合格できたのは、担任や副担任、進路の先生方をはじめとする多くの先生方、そして両親や友達に支えられたからです。進路の先生方には、計3校の志望理由書の添削や、面接、口頭試問対策などを協力していただきました。時には、夜遅くまで残っていただいたこともありました。また、寮生活をしているので、親とは電話でほぼ毎日のように進路について話し合いました。更に、クラスや部活動、地元の友達にも応援をしてもらいました。

これから進路を考える皆さん、高校3年間で多くのことを学び、挑戦してください。そして、高校卒業後に進学をするにしても、就職をするにしても、自分に自信を持って最後まで諦めずに挑戦してください。きっと良い結果が得られます。

私は、大学ではお世話になった多くの方々に感謝をして、学習や研究を行います。そして、4年後には胸を張って大学を卒業できるよう、1日1日を大切に努力をし続けていきます。私を最後まで支えて下さった海洋高校の全先生方、そしていつも応援してくれた両親と友達には、本当に感謝をしています。本当にありがとうございました。